



令和7年度 坂東市立岩井第二小学校の教育



「みんなが育つ みんなが学ぶ」
自分たちの学校を自分たちでつくる
 人を大切にし 夢と希望がもてる学校
多様性を認め合える学校
 互いを尊重し互いを認め合える 温かな学校

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する

- 【経営の重点】
- ・主体的・対話的で深い学びを実現し、確かな学力(見えない学力)の向上に努める。
 - ・道徳教育と人権教育を基盤とし、豊かな心の育成に努める。
 - ・自ら運動に取り組み、体力の向上と健康の保持増進に努める。
 - ・一人一人のよさや個性を見だし、自立と社会参加に向けた特別支援教育を推進する。
 - ・教職員が誇りと働きがいを持ち、協働できる学校づくりに努める。
 - ・地域に信頼され、地域の教育力を生かした学校づくりに努める。

坂東市学校教育の基本方針 「未来を担う子どもを守り育む教育の充実」

- 魅力ある学校づくり
- ・確かな学力を育む教育
 - ・豊かな心を育む教育
 - ・健やかな体を育む教育
 - ・教員サポート体制の充実
 - ・時代の変化やグローバル社会へ対応できる人材を育む教育
 - ・自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実

組織目標 自律性と当事者意識を育み 自己肯定感と自己有用感を高める教育活動を推進する

求める児童の姿

やさしく

- だれとでもかかわれる子【徳】**
- 1 自分から進んであいさつができる子
 - 2 常に思いやりの心で接することのできる子
 - 3 互いを認め合い、助け合い支え合うことができる子

たくましく

- いつもにこにこ元気な子【体】**
- 1 体力づくりに進んで取り組む子
 - 2 健康で安全な生活を送ることのできる子
 - 3 あきらめないで最後までがんばることのできる子

かしこく

- にんたい強くがんばる子【知】**
- 1 課題に対して納得するまで取り組む子
 - 2 話を聴き 自分の考えをもち 他者との違いを理解し 折り合いを付けることができる子
 - 3 読書を通して想像力が広げられる子

努力点

豊かな心の育成と居場所づくり・絆づくり

- ① 基本的な生活習慣の励行
 - ・言葉や表情、会釈等によるあいさつの実践
- ② 「居場所づくり」「絆づくり」に努める
 - ・困っている人に寄り添える人づくり・学級づくり
 - ・お互いのよさを認め合い励まし合う活動の充実
- ③ 道徳教育と人権教育の充実を図り、思いやりの心を育てる
 - ・発達段階や実態を踏まえた考え議論する道徳授業
 - ・多様な個性を認め合う活動や集会等の実践
 - ・人を大切に、互いに認め合い、思いやる活動の充実 (情報モラル教育を含めて)
- ④ 異学年交流や各種集会活動等で人とのかかわりや体験活動を通して、自己肯定感や自己有用感を高める
 - ・実行委員会等の児童主体による活動の充実
 - ・異学年交流の計画的な実施と適切な振り返り

<数値目標>

- 学校が楽しい 95%
- みんなで何かをするのは楽しい 97%
- 友達と仲良く生活する 98%

体力向上と健康増進

- ① 運動の特性や楽しさを味わわせ、主体的・対話的に運動に取り組む体育授業を展開する
 - ・運動の特性や楽しさを味わえる活動や場の工夫
 - ・言葉による「まとめ」や「振り返り」の実践
- ② 体育的活動や休み時間の活動を通して、体力の向上に努める
 - ・児童の思いや意見を取り入れた体育的活動の実践
- ③ 食育の充実や「早寝 早起き 朝ご飯」の習慣を図り、免疫力を高め健康の保持増進に努める
 - ・「早寝早起き朝ご飯」の習慣化と家庭との連携
- ④ 自然災害や交通安全等、様々な危険に注意し、自ら判断して、主体的で安全に行動できる力を育む
 - ・主体的に危険予測や危機回避できる能力の育成
 - ・体験を通じた防災教育と安全指導、衛生指導の充実

<数値目標>

- 運動することが楽しい 95%
- 「早寝 早起き 朝ごはん」ができる 85%
- 自分の命は自分で守ろうとしている 100%

互いに学び合い高め合う授業づくり

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進
 - ・「孤立した学び」に陥ることのないよう、「協働的な学び」と一体的な充実
 - ・従来の教育実践とICTを組み合わせ、学習のそれぞれのよさをより一層深める工夫
- ② 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり
 - ・大人と子供、子供どうし等の問答の繰り返し
 - ・「まとめ」と「振り返り」の重視
 - ・自己の学習活動を振り返って次につなげる工夫
 - ・協働、対話等を通じ自己の考えを広げ深める
 - ・知識、情報、問題解決等から思いや考えを基に創造する
- ③ 読書を通し、将来の夢や希望をもつ
 - ・朝の時間、隙間時間等の積極的活用
 - ・読み聞かせ、ブックトーク等の展開
 - ・「みんなにすすめたい一冊の本」の推進

<数値目標>

- 授業がよく分かる 95%
- 授業に主体的に取り組んでいる 90%
- 友達と助け合って学習したり生活したりしている 85%

- 【一人一人がよく考え、支え合う「魅力ある学校づくり」の推進】
- 学校生活向上推進部会
 - 授業改善推進部会
 - 小小・小中連携部会
- (ピア・サポートの日常化、授業の中の居場所感と学びの保障、幼保小中連携 等)



【求める教職員】

教職生活を通じた「新たな学びの姿」 **令和の教育実践**

- ① 学び続ける姿勢
- ② 主体的な姿勢
- ③ 個別最適な学び
- ④ 協働的な学び

子供を大切にし 個性を伸ばす教職員 **優しさ思いやり**

- ① 「居場所づくり」「絆づくり」を実践し、子供に対して認め励まし支えることのできる教職員
- ② 子供の夢を尊重し、温かく関わることができる教職員

健康で心豊かな明るい教職員 **人間力**

- ① 心身ともに健康で、笑顔で明るい教職員
- ② 子供の個性や多様性を理解し、人を大切にできる教職員

<教職員数値目標(そう思うのみの割合)>

- 意見を出し合い組織的に取り組んでいる 80%
- 業務の必要性を意識して取り組んでいる 80%
- 保護者や地域を意識して取り組んでいる 80%
- 読書時間の確保や量の指導に努めている 80%

地域の教育力を生かした学校づくり

- ・学校運営協議会を基盤とする地域の諸団体、関係機関等との円滑な連携
- ・多様な地域力や地域の事業等との連携(郷土教育) ・HP等による情報発信

魅力ある学校づくり

- ・児童一人一人の「居場所づくり」と「絆づくり」
- ・小小連携と小中連携
- ・児童が互いを認め合い、助け合い、支え合う活動